

事前評価個表

整理番号	24
------	----

地域（地区）名	おおよどかわ 大淀川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	みやざきし 宮崎市ほか7市町
事業実施期間	H30～H34（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の中中部から南西部に位置し、比較的平坦な宮崎平野の南部に含まれる宮崎地域、1,000mを超える山々が連なる霧島山地がある西諸県地域、霧島山地と鰐塚山地に囲まれ山間盆地である北諸県地域の3地域から構成されている。</p> <p>民有林は71千ha、そのうち人工林は48千haで人工林率が68%と高くなっている。樹種別では、スギが人工林面積の82%、齢級別では、ⅩからⅩⅢ齢級が59%を占めており、高齢級の割合が高いことから、主伐後の確実な再造林が必要となっている。</p> <p>また、本地域は製材業等の木材産業が発達した北諸県地域を包含する木材産業の集積度の高い地域である。近年充実した森林資源を背景に、製材工場が大型化するなど木材需要が高まっており伐採量が大幅に増加している状況となっている。</p> <p>このように本地域が本格的な収穫期に入っていることから、豊かな森林資源を効率的に活用しつつ、確実な再造林を進めることで、「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業を構築するとともに、「森林の若返り」と齢級構成の平準化を進めていく必要がある。</p> <p>このため、本事業では森林資源の循環利用と水資源の涵養などの果たすべき役割に応じた適正な森林管理を進め、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るとともに、成熟した森林資源を有効活用し、木材の安定供給体制の確立に資することを踏まえた、植栽等の更新作業や間伐等の保育作業等の森林整備を一体的かつ計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：9,383ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,829,819千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.48 (総便益(B) = 20,752,639千円、総費用(C) = 4,630,440千円)</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：大淀川地域森林計画に則した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 宮崎県

地域(地区)名: ^{おおよどがわ}大淀川

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,232,754	
	流域貯水便益	2,272,756	
	水質浄化便益	4,840,347	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,006,474	
環境保全便益	炭素固定便益	1,282,653	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	2,117,655	
総 便 益 (B)		20,752,639	
総 費 用 (C)		4,630,440	
費用便益比	$B \div C = \frac{20,752,639}{4,630,440} = 4.48$		

